

食酢の茎葉散布には葉いもちの防除効果がない

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

1 部門名

水稻－水稻－病虫害防除

2 担当者

山田真孝・皆川博孝

3 要旨

食酢は特定防除資材(特定農薬)として指定されているが、いもち病に対する防除効果については不明な点が多い。今回は一般に市販されている食酢(穀物酢酸度4.2%・50倍液、200倍液)の葉いもちに対する防除効果を検討した(ポット栽培イネへの接種試験)。その結果、いもち病に対する茎葉散布の効果は低く、実用性がないと考えられた。

- (1) 食酢50倍液及び200倍液の茎葉散布後にいもち病菌を接種した結果、いもち病に対する予防効果は認められない(表1、表2)。
- (2) いもち病菌接種後に食酢50倍液及び200倍液を茎葉散布した結果、いもち病に対する治療効果は認められない(表3)。
- (3) 今回の結果は、食酢1製品の限られた濃度での結果であるため、食酢を防除に用いる場合は自ら判断し使用する。

表1 葉いもちに対する食酢の予防効果試験(2006年)

処理	試験1		試験2	
	病斑数 (個/ポット)	防除値	病斑数 (個/ポット)	防除値
食酢(50倍液)	32.0	0	2.7	33
食酢(200倍液)	9.0	0	4.0	0
ブラシンプロアブル(1000倍)	0.3	96	0	100
無処理	7.0		4.0	

注)食酢散布乾燥後、すぐに接種を行った。

1区4ポット、ポット当たり8株円形移植

表2 葉いもちに対する食酢の予防効果

処理	散布時期	病斑数 (個/ポット)	
		病斑数 (個/ポット)	防除値
食酢(200倍液)	接種14日前、7日前	39.0	0
	接種7日前	37.2	0
	接種7日前、直前	30.7	3
	接種直前	30.2	4
無処理		31.5	

注)1区3ポット、ポット当たり4本移植

表3 葉いもちに対する食酢の治療効果試験(2006年)

処理	試験1		試験2	
	病斑数 (個/ポット)	防除値	病斑数 (個/ポット)	防除値
食酢(50倍液)	31.0	0	7.0	13
食酢(200倍液)	39.0	0	7.3	9
カスミン液剤(1000倍)	1.0	96	0.7	91
無処理	26.0		8.0	

注)接種1日後に散布を行った。

1区4ポット、ポット当たり8株円形移植

注)防除値=(無処理の病斑数-試験区の病斑数)/無処理の病斑数×100。

100に近いほど防除効果が高い。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19年度センター試験成績概要